

玉島

TAMASHIMA

地区

地域活動の活性化に
向けたワークショップ

VOL. 03

ニュースレター

令和5年 12 月

発行：茨木市市民文化部地域コミュニティ課

玉島地区では、「玉島のこれからのまちづくりを考える」をメインテーマに、地域の更なる活性化を目指して、全3回のワークショップを実施しています。令和5年11月5日(日)に開催した第3回のワークショップでは、4つのグループに分かれてワークを行いました。

ワーク1 前回のふりかえりと玉島まちづくりビジョン

ワーク1では、第2回目のふりかえりからスタートしました。前回は、「地域全体で行事や取組を無理なく実施していくには?」、「これからもこどもたちがのびのびと育つために、地域ができることは?」、「若い世代の力を地域につなげ、活かすためにできることは?」、「いざという時のために、日頃から地域で声をかけ合う関係を築くには?」という4つのテーマからそれぞれのグループで話し合いたいテーマを2つ選び、現状や工夫のアイデアを出し合いました。運営の見直しについての意見や新たなアイデアなどがでました。

玉島地区では、今回のワークショップを通して、玉島まちづくりビジョンを作成予定です。これまでの意見をもとにつくられた玉島まちづくりビジョンの全体像を確認しました。それをもとにグループ内で感想を共有し、今までの話し合いの内容が反映されていることや少しずつ形になっていることを感じる時間となりました。



第3回 実施概要

日 時: 2023.11.5(日)

14:00~16:00

会 場: 玉島公民館

参加者数: 24 人

プログラム

- 1: 会長挨拶
- 2: ワークショップ趣旨説明
- 3: 前回のふりかえり
- 4: 参加者自己紹介
- 5: ワーク: 話したいテーマを選び、グループで話し合い
- 6: グループ発表(全体共有)

ワーク3 アイディアのたねから取組を考える

前回の話し合いで出たさまざまなアイディアのたねから「既存の取組や行事でできることか」、「既存の取組や行事を作りかえることでできることか」、「どのような団体とすすめていけるといいか」を考えました。結果として以下のような多様な意見ができました。

① こどもたちが玉島の担い手として育つ機会を作り出すには？		
現状	アイディアのたね	取組案
・こども会がない地域がある ・自治会やこども会に加入していないが、地域行事に参加したいこどもがいる ・こどもの頃から自治会や地域活動が当たり前の存在になっていない	・自治会(町内)、こども会の加入/未加入をこえて、地域行事に参加できる仕組み ・こどもを対象にした講座の実施 ・こどもたちが企画運営できるイベントの実施	・公民館活動の一環として、こども講座の実施 ・保育園、幼稚園、公園などに団体、行事のチラシを貼ってもらう ・夏祭りでこどもが運営側にまわる機会をつくる
② これからの世代を意識し、行事や取組を具体的に見直すとしたら？		
現状	アイディアのたね	取組案
・行事の準備が大変 ・イベント実施に負担を感じる ・行事をやればやるほど担い手が参加できない	・ひとりひとりの役割を小さくする ・行事の目的や内容を見直すアンケートをとる	・イベントの実施に時間とエネルギーがかかるため、簡単にできるもの考える ・イベント準備の細分化 ・アンケートの実施
・共働き世帯や若い世代は、地域の会議に時間が合わず、出席しにくい ・家族との時間も大事にしたい ・休みの日はゆっくりしたい ・共働きが多く、地域活動へ参加できない ・回覧板はあるが情報共有できていない	・働く世代に合わせた時間設定 ・地域の会議の効率化や回数の見直し ・スマホで情報を読み取れる QR コードの活用	・会議の終了時間を守る ・長時間の会議をなくす ・会議の回数を減らす ・LINE を活用し、情報共有を行う
③ 玉島に引っ越してきた方が住民と交流できるためのしくみとは？		
現状	アイディアのたね	取組案
・転入者の顔がわからない ・転入者も地域の自治会長を知らない ・新しい人が入りにくい	・転入者と現在活動している人の顔合わせの機会をつくる ・顔見知りになるための親睦会 ・自治会内での楽しい催し物 ・行事のあとの打ち上げ	・地域行事を知る仕組みをつくる
・地域に関わりたくない人もいる ・自治会がないエリアがある	・みんなが参加しやすいイベント ・こどもがいる家庭にはこどもが喜ぶことで来てもらい、交流する	・こどもと高齢者のつながりづくり ・今回のワークショップのように、知らない人同士がつながる機会は大事

これで全3回のワークショップが終了しました。今回のワークショップでは、多様な世代や組織のみなさんが話し合うことで具体的な取組案がいくつもできました。それらを玉島まちづくりビジョンに沿ってどのように進めていくかをさらに、玉島地区全体として話し合いを進めていきます。玉島地区の今後の展開が楽しみです。